## 令和4年度 県立土浦第二高等学校自己評価表

## 目指す

自律的で責任感のある人間として、多様な価値観をふまえ協働して活動し、現代社会を生きるための柔軟な思考力・判断力・表現力をもって、客観的 学校像 │に分析・考察することのできる人材を育成します。

- 1 未来に必要な資質・能力を身につけ、個々の学力の伸長と進路希望の実現を図る学校
- 2 豊かな感性や人間としてよりよく生きていく力を高める学校
- 3 保護者や地域と連携し、信頼される開かれた学校

昨年度の成果と課題	重点項目	重点目標	達成 状況
1 国公立大学の合格者数は、5年 連続で100人を超えた。今年度も 継続する。また、国公立・私立難関	と学習習慣の確	・「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業の工夫・改善により、新しい時代に必要となる 「学びに向かう力、人間性等の涵養、生きて働く知識及び技能の習得、未知の状況にも対応できる 思考力、判断力、表現力等」の育成を図る。	A
大学の合格者についても前年度以上 に増加を図る。さらに、生徒の進路		・ICT環境を適切に活用した学習活動の充実を図る。突発的な臨時休業等による生徒の学びの保証に備えて、ICT機器を用いた遠隔教育の充実を図る。	A
希望実現のための方策を検討すると ともに、生徒個々の学習意欲の向上		・観点別評価を明確にして、年間指導計画に沿った授業を展開し、自学自習の習慣化を図り、自主学習時間を増加させる。自主学習時間の目安を、1年3時間、2年4時間、3年5時間とする。	A
と計画的な家庭学習時間の確保につ		・担任と生徒の個別面談の推進(年間4回以上)。	A
いて重要性を説き、確立を図る。		・全員参加による土曜課外の実施 (55 分×3 時間)	A
2 部活動参加率は85%と活発な活		・生徒一人一人の進路実現のために、平常日・長期休業中において、各学年・各教科の組織、計画 的な課外の実施。	A
動が行われ、各種大会で優秀な成績		・学習室・多目的室(19時まで使用可)を開放し、よりよい学習環境を構築する。	A
	<ul><li>2 特別活動の</li><li>充実と基本的生</li></ul>	・ホームルーム・委員会・学校行事・部活動などの生徒の主体的活動を支援し、道徳的実践力を高める。	A
より充実させていきたい。	活習慣の確立	・土浦二高生としての品格ある行動を確立させる。	A
2 左眼の同の伊護老子沙然と安佐		・遅刻指導等を通して、自律的で責任ある生活習慣を確立させる。	A
3 年間2回の保護者面談等を実施し、保護者との連携を図りながら生		・教室の清掃を始めとした校内美化活動を通して、奉仕の精神と豊かな心を育成する。	A
徒の指導に当たっている。本年度は 授業公開やホームページを通して、		・各学年ともにHRにおいて「キャリア・パスポート」を活用し、記録を用いた話し合い、意思決定により、生徒一人一人のキャリア形成に努める。	В
さらなる情報発信を推進し、本校の	3 異文化理解 の推進	・国際交流活動、特に、平成30年度より実施している海外研修を継続的に推進する。	A
係者の協力や理解を目指す。	4 保護者及び	・保護者面談を計画的に実施して情報を提供し、教育活動への理解と支援を促す。	A
	地域との連携の	・魅力ある学校行事の実施に努め、保護者の積極的参加を促す。	В
	推進	・ホームページの定期的更新により、教育活動等の情報を広く発信する。	A

		・地域資源の活用や高大連携の活動を充実させ、地域に発信する。	A
Ę	5 働き方改革	・衛生委員会を中心に教職員の共通理解を図り、これまで慣例的に行ってきた業務、行事を見直	A
		し、必要性の低い業務を削減する。	
		・家庭・地域と学校の役割分担を見直すために、家庭・地域への情報発信や積極的な関わりを推進	A
		し、意見を聴取して校務に反映する。	
三つの方針		具体的目標	

三つの方針 (スクール・ ポリシー)	「育成を目指す資質・能力に関する 方針」(グラデュエーション・ポリ シー) 「教育課程の編成及び実施に関する 方針」(カリキュラム・ポリシー)	豊かな人間性、幅広い知識と柔軟な思考に基づく判断力・行動力を有し、変化の激しい社会を心豊かにたくましく生きる人材を育成する教育活動を通して、魅力と活力ある学校を目指す。 1 未来に必要な資質・能力を身につけ、個々の学力の伸長と進路希望の実現を図る学校。 2 豊かな感性や人間としてよりよく生きていく力を高める学校。 3 保護者や地域と連携し、信頼される開かれた学校。 1 授業の充実を図り、知的好奇心や学習意欲を高め、自主的・能動的な学習習慣を確立させる。 2 組織的・系統的なキャリア教育を充実させ、自己探求や自己実現に努める生徒を育てる。 3 特別活動等への積極的な参加を促進し、豊かな感性や道徳的実践力を高める。
	「入学者の受入れに関する方針」 (アドミッション・ポリシー)	1 「夢探し!夢づくり!!そして、夢のゴールへ!!!」のキーワードのもと、夢の実現を目指す生徒。 2 現代社会を生きるための実践的で幅広い知識・技能の習得に努める生徒。 3 柔軟な思考力・判断力・表現力の習得に努める生徒。 4 多様な考えを受容し、協働して課題解決に努める生徒。

	<sup>7</sup> 価 頁目	具体的目標	具体的方策	評化	次年度(学期)への主な課題
		基礎学力の向上に努め	・教科書および文法書、便覧等を活用し、古典についての基本的な知識を身につけさせる。	В	・3年間で学力格差
		[ ప .	・教科書および参考書等を活し、読解に必要な概念や語彙を身につけさせる。	Α	が極めて大きくなる 傾向があるので、下
		受験に対応できる学力を	・授業内容を精選し、論理的思考力に裏付けられた応用力を身につけ、多様化する入試に対	A	位層の生徒の学力を
	囯	涵養する。	応する力を培う。		伸ばす工夫が必要で
			・新傾向に対応した問題演習を反復し、ICT を活用しながら実践的な国語力を伸ばす。	Α	ある。
			・様々な言語活動をとおして、実社会において役立つ表現力を養う。	В	・古典が苦手な生徒
纵	語	小論文を書く力を育成す	・様々な文章を批判的に読むことで、思考力を養う。	A	が多く、基礎事項の
1	日日	る。	・論理的な思考をもとに、的確に表現する方法を身に着けさせる。		が多く、金帳事気の

		<del>_</del>			,	
		家庭学習習慣の定着を図	・自学に対応した課題を実施し、物事を深く探求する力を養う。	Α		徹底を図る取り組み
		る。				が必要である。
	地	学力の向上を図る。	・受験学力養成のため定期試験を工夫し、解説を通して理解を深めさせる。また、職員自らが	Α		基礎学力を定着させ
	歴		受験問題にあたり、傾向や難易度を把握する。			るため、家庭学習を
	公		・生徒の希望や状況に応じた課題を示し、ICT を活用しながら個別の指導を行う。	Α		習慣づける。また、
	民	家庭学習習慣の定着を図	・効果的な課題提示を工夫・実践し、家庭学習の定着を図る。	Α		受験対応の学力養成
科		る。			Α	に力を入れる。主権
		現代社会の諸問題との関	・資料やデータを多角的に分析して、視野の拡大や異なる考えに対する柔軟性を涵養する。	Α		者教育を取り入れ、
		連性を考えさせる。	・主権者教育を授業の中に取り入れ、生徒の主体的、実践的態度を育成する。	В		主体的態度を育成す
						る。
		学力の向上。	・生徒の実態に応じた指導計画と指導内容・方法の工夫改善を図る。	Α		・観点別学習評価の研究を
		(基礎・基本的な知識・	・教科書準拠問題集や小テスト等を活用して、基礎・基本の確実な定着を図る。	Α		継続する。 ・授業内での個人端末の利
		技能の確実な修得/	・問題演習の時間を十分に確保し、 入試問題に対応できる論理的思考力・応用力を涵養す	Α		用機会をさらに増やし、
	数	思考力・応用力の育成)	る。		Α	ICT の活用の仕方を共有で きるようにする。
			・課外(早朝・放課後)や添削等を実施し、個に応じた指導・支援の充実を図る。	Α		・課題の評価の仕方を精
		表現力・論理力の育成。	・言語環境を整え、ICT を活用しながら活動の充実を図る。	В		度、頻度等も含め、検討し
	2) (	家庭学習習慣の確立。	・定期的に課題の提出を課すとともに、 点検及び事後指導を徹底する。	В		たい。 ・「学びの個別最適化」の
	字					システムの確立を図る。
	-≠π1	241.041	サかはなん (4.3mg をおか) - 707/日) - (5.5.5) - 中田はない上が)	-	-	
	埋	学力の向上。	・基礎的な知識を確実に習得し、さらに応用的な内容についてもしっかりと理解できるような	А	A	実験・観察・シミュレーシ
	<b>1</b>		授業を展開し、学力向上を図る。	Δ.		ョン等を通して思考力・判
	什	実験・観察を通して自然	・共通テストや個別試験等に出題された実験内容を、各科目で検討して考察方法などを理解されています。根本はそれての実際、規密はほしても嫌知されています。	А		断力・表現力を育成し、自
		に対する関心や探究心を	せるとともに、授業内での実験・観察を通して自然観を身につけさせる。			ら考える姿勢と基礎学力の
		高める。	・定期的な課題を提供し、自学自習による課題提出を通して、ICT を活用しながら家庭学習の	Δ.		定着を図る。また、家庭学
		家庭学習の習慣化。	・足別的な課題を提供し、日子日智による課題提出を通して、ICIを店用しなから家庭子智の 習慣化を図る。	Α		習の習慣化のため、引き続き計画的な課題提供とフォ
		1 計画中の研究	<b>賃</b> 賃化を図る。    ・共通テストに対応できる学力を身につけさせるために、入試制度の研究を進める。	Δ.		ローを行う。
		入試制度の研究。	・共通/<トに対応できる子月を身にづけさせるために、八畝制度の妍先を進める。 	A		21170
		健康安全について理解を	・ICT を活用した視聴覚教材・資料等を効果的に活用し、学習の理解度を高める。	Α		ICT 活用で種目ごとの生
		深め日常生活で生かせる	・グループワークを取り入れ、言語活動を活発にさせる。			徒の課題を明確、共有
	保	ようにする。	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •			することができた。さ
		体力の向上を図る。	・体力テストの結果から自己の体力を把握させ、体力の向上を目指し年間を通して継続的に体	В	Α	らに生徒の興味関心を 効果的に惹きつけるこ
教	健		カトレーニングを行う。			M 本H M に合って
1 -		L	- · · · · ·	1	_	1

					_	
		運動技能を高め運動の楽	・基礎的技能を学ぶなかで課題を設定させ、練習に取り組みゲームを楽しむ。	Α		とができた。次年度も
		しさや喜びを味わうこと	・ICT を活用するなど、お互いに教えあう活動を取り入れ、助け合いながら運動技能向上を図			保健、体育の両科目で ICT を活用した授業展開
		ができるようにする。	る。			を実施する。また観点
科	育					別評価内容の充実を検
						討する。
		学びの意義を実感できる	・美的情操を培う各科目における教材、指導方法の精選。	Α	А	言語能力や感性を高めるためのグループワー
		7 11 11 11 11 11				クや ICT を活用した授
		表現と鑑賞の能力を高め	・ICTを活用しながら鑑賞授業を充実させ、鑑賞で得た知識を表現に生かし有機的に関連付け	Α		業展開の工夫、表現の
	,	る。	ながら、両面の学習活動を進行し、芸術表現に必要な技能を身に付けさせる。	D	-	方法をより一層充実さ
		芸術的感性と言語能力の向上。	・生徒同士で積極的に意見を交換する場面を設定し、活発な言語活動を行う。感性を高めあい、お互いに創意工夫しよりよいものを創る姿勢を育む。	В		せる。
			100 200 200 200 200 200 200 200 200 200			去左京 1 世世兴 L
		4技能の習得を図りなが	・生徒の実態に応じた指導計画の改善と工夫を図る。	A	_	・来年度も基礎学力
		ら学力の向上を目指す。	・大学入学共通テストに対応するための技能を育成する工夫を図る。	A	_	を定着し、大学入試に対応できるまでの
	英		・授業内のコミュニケーション活動を充実させる。	В		力を育成することに
	<del>X</del>		・家庭学習、休業中の課題にサイドリーダー等を活用して多読の指導を行う。教材を精選し、	Α		尽力したい。
			様々な話題に触れさせることで視野の拡大に努める。		A	・言語活動をさらに
			・小テスト・考査等を利用して語彙・文法・構文の定着を図り、表現力を高める一助とする。	Α		充実させ、英語を
	語		・英検等の資格検定にも積極的に取り組ませ、意識を高める。	А		「使いながら身につ
			・授業における ICT 活用方法を模索する。	А		ける」ことを実践し
		家庭学習習慣の定着。	・学習課題の提出・点検及び授業の予習の徹底を図る。	А		ていきたい。
			・学習が不十分な生徒については補習等で対応する。	Α		
		自立した生活者に必要な	・実験や実習、観察や調査、演習などの体験的な学習活動を計画的に実施する。	А		・生徒が ICT を活用
		基礎的・基本的な知識と	・筆記試験や技能試験を計画的に実施する。	Α		し、主体的・対話的
		技能を育成する。				に学習する場面を設
	庭	生涯を見通して生活の課	・生徒が ICT を活用しながら主体的・対話的に学習する場面を効果的に設定する。	Α		定する。
		題を解決する力を育成す	・生徒が考察したことを科学的な根拠や理由を明確にして論理的に表現する場面を効果的に設	А	Α	<ul><li>生徒が学んだこと</li></ul>
		る。	定する。			を実生活に活かすこ
		生活を主体的に創造しよ	・ホームプロジェクト等家庭での実践的な学習活動の充実を図る。	Α		とができるような課題を表する。
		うとする実践的な態度を				題を設定する。
		育成する。				
			・学校家庭クラブ活動等校内や地域での実践的な学習活動の充実を図る。	Α		
				•	•	

		情報モラルと情報に対す る自己責任の育成を図 る。	・教科書や情報モラル副読本、新聞記事やネット上のニュース等を教材にして、情報モラル、 情報セキュリティ等、情報社会において求められる基本的な心構えを身につけさせる。			・情報 I の進め方 が、うまくつかめて いない。共通テスト
	報	情報を主体的に活用する 能力を育成する。	・コンピュータや情報通信ネットワークなどの活用を通して、情報を適切に収集・処理するための基礎的な知識と技能を習得させる。		A	の出題傾向に合わせ て、授業を工夫して
			・各種ソフトを使用しながら、ICT機器をコミュニケーションツールとして活用する能力の育成を図る。	A		進めていきたい。
		教育課程の適切な運営と 授業の充実を図る。	・現行の学習指導要領を適正に運用するとともに、新学習指導要領に基づく本校の特色を生かした新しい教育課程を編成する。	A		・新しい教育課程を実施 し、検証する。 ・教員の授業力・学習指導
			・教員相互の授業公開を通して、授業力の向上に努めるとともに、共通テスト、新入試に対応できるような授業への改善を図る。	В		力の向上のために、今後さ らに相互授業公開等を活発
			・各学年、各教科との連絡を密にし、授業時間の確保に最大限努める。	Α		に行う。 ・「総合的な探究の時間」
			・各教科においてシラバスを作成し、その活用を図る。	В		については、3年間を適じ
教	務		・「総合的な探究の時間」の導入に伴い、「探究学習」について研究を行い、ICTを活用しながら各学年と連携して実施する。	A		た指導計画のもとに、学校 全体で取り組む。 ・感染症対策の中、各学
			・人権教育や特別支援教育に関する啓発を推進する。	Α		年・各部・各教科と綿密な
		適切な行事計画を作成 し、教育活動の円滑な実	・学習と部活動・学校行事とのバランスを考慮し、学校行事の精選を進め、土曜課外を含めて教育効果の高い年間行事計画を作成する。	A		連携をとり、学校運営を円 滑に行うために、詳細に検 討した計画を立てる必要が
		施に努める。	・学校評価の結果から問題点を検証し、より良い教育活動の改善を図る。	Α		ある。
		計画的・広域的な広報活動を推進する。	・中学生対象の学校説明会において、動画等を活用し、中学生・保護者にわかりやすく充実した説明会を実施する。	A	Α	・学校評価アンケートの結果を各文章・学年で反映させ、今後の教育活動に生か
			・いばらき教育の日の公開授業や各種説明会を通じて、教育内容の広報に努める。	Α		す。 ・中学生対象学校説明会、
		事務処理の効率化を図る。	・情報部と連携し、校務運営システムを適切に活用し、成績処理、成績一覧表・通知票等の処理を円滑かつ確実に行う。	A		授業公開や、ホームページ 等による情報発信を、感染
			・奨学金等に関する広報活動・事務処理を的確に行う。	A		症対策をふまえ、実施する。 ・教育効果の高い学習者用端末の活用方法を研究し、 実践する。 ・校務に関する業務効率化のため、校務の見直しを行い、反映させる。
		個々の生徒の能力・適性 に応じた進路指導を通し	・進路希望調査、進路・学習に関する意識調査を実施し、生徒の現況を把握するとともに問題点の検討とその改善策を講じて、各学年に対して適切な進路・学習指導をサポートする。	В		各種データを詳細に 分析し、現状に適合
		て、一人ひとりの生徒の 進路希望の実現を図る。	・個々の生徒の進路希望や能力を把握して適切な進路指導につなげられるよう、時期に応じた 個別面談・指導の実施を促す。	A		した進路指導を展開 する必要がある。

公開護座やオープンキャンバス等の情報を提供して参加を使し、大学や学問研究に対する早 A 別の意識付けを行う。   3 年間を見通した行事を計画し、「キャリアガイダンス」、「ワンゲーカレッジ」等の進落 A 関連行事を有意義なものとし、キャリアガイダンス」、「ワンゲーカレッジ」等の進落 A 関連行事を有意義なものとし、キャリア教育を推進する。   4 生。保護者対象の適路講演会を適切な時期に実施し、ICT を活用しながら最新の有用な進 A 路情報を提供する。   4 生。保護者対象の適路講演会を適切な時期に実施し、ICT を活用しながら最新の有用な進 A 路情報を提供する。   5 年本人次制度に対応するために、画族・小論文等の対策について学年を起えた指導を充実 A させる。   6 季様な人気制度に対応するために、画族・小論文等の対策について学年を超えた指導を表実 A させる。   6 季様な人気制度に対応するために、画族・小論文等の対策について学年を起えた指導を充実 A させる。   6 季様な人気制度に対応するために、画族・小論文等の対策について学年を超えた指導を表す。   6 季様な人気制度を整理・分析し、年後との画談に活用できる適切な連路情報を提供する。 A - 6 李年と連携しながら試外授業(甲日・土曜日・長期休業中等)、機械試験を計画・実施し A - 6 李年と連携しながら試外授業(甲日・土曜日・長期休業中等)、機械試験を計画・実施し A - 6 李年と連携しながら試外授業(甲日・土曜日・長期休業中等)、機械試験を計画・実施し A - 7 名。   6 李年な人気制度を整理・分析し、年後との画談に活用できる適切な連路情報を提供する。 A - 6 本の学の教員対象の授業・が修信報を提供し、教員の授業力、受験指導力の向上に寄与 A - 7 名。   4 表別表の表述主意が表現の文章を提供を適定方。   5 本の学は対象の建設で表現でする。   5 本の学の主義を展示するとのを譲るを指するとの意識を高め指導 など地連する。   4 世間では、一日に対するの企業が出ないより自ら規能意識の向上を図れるように大型研究を通して、その意義を中の理解とせ、生徒、学年間で指導の企業が出る。   5 指導和主導で指導の企業が出るように表現を指するとので通数を持つ。   6 表別を記述を持て、 2 表別を記述を持ている。   5 指導和主導で指導の企業が出るように対策を指するとので通数を持つ。   5 指導和主導で指導のと述えを確定するとの表現を持なるように、一般の方の表現を指するよりに交通安体及び防犯意識を持っる。   5 年度の選集を対し、 5 を発き機関との連携を密にし、不審者情報や交通・数はに提供する。また地 A から連載を誘発へと共 なったの音音を記えらに交通安体及び防犯意識を高める。   5 年度の経験を終されました。 1 年度の記述を経験にある。   5 年度の経験を含成して、 5 日前を表して、 5 日前を記述する。   5 年間で大学の対策に関しては、学年間で指導の上を図れるように対しては、学年間で対策に関しては、学年間で指導の上を図れるように対しては、学年のでは、対しました。   5 年度の注意を提供する。   5 年度の注意を提供する。   5 年度の注意を提供する。   5 年度の注意を提供する。   5 年度の連載を提供する。   5 年度の対策に対しては、学年のでは						
### 2000				A	A	
意識の高揚とキャリア教育の推進を図る。		進路に関する行事を計		A		
・多様な入試制度に対応するために、面接・小論文等の対策について学年を越えた指導を充実 A で機試の分析を行い、適切な進路情報を提供する。 ・家庭学習時間の確保のため、各学年や各校務分掌等との連携を図りながら方策を検討する。 A で多様な入試制度を整理・分析し、生徒との面談に活用できる適切な進路情報を提供する。・多様な入試制度を整理・分析し、各学年や各教科の学習指導・進路指導の改善に寄与 A ・入試結果・機試結果を多面的に分析し、各学年や各教科の学習指導・進路指導の改善に寄与 A ・ A を進める。 ・教員対象の提案・研修情報を提供し、教員の授業力、受験指導力の向上に寄与 A する。 ・教員対象の提案・研修情報を提供し、教員の授業力、受験指導力の向上に寄与 A する。 ・教員対象の進路研修会を実施し、今後の入試制度の変化に対応するために教職員全体で研究 A を進める。 ・商人接続改革及び大学入学共通テスト等に関する研究を継続し、保護者・生徒、教職員への A 情報提供を適宜行う。 ・HRや特別活動、学校行事、授業等様々な場面においてまずは挨拶と身だしなみを意識して A 指導し、基本的生活習慣を身に付けさせる。 ・着こなし強化週間やさわやかマナーアップ運動等を通して、その意義を十分理解させ、生徒 A 自ら規範意識の向上を図れるようにする。 ・ を推進する。 教育相談体制の充実を図 る。 ・交通安全週間、長期休業明け交通安全指導時には、改めて交通安全の意識を持たせるように A 努める。 ・ 養察や関係機関との連携を密にし、不審者情報や交通事故情報等を迅速に提供する。また地 A がら規範意識や公共		意識の高揚とキャリア教		A		
・多様な入試制度に対応するために、面接・小論文等の対策について学年を越えた指導を充実 A で機試の分析を行い、適切な進路情報を提供する。 ・家庭学習時間の確保のため、各学年や各校務分掌等との連携を図りながら方策を検討する。 A で多様な入試制度を整理・分析し、生徒との面談に活用できる適切な進路情報を提供する。・多様な入試制度を整理・分析し、各学年や各教科の学習指導・進路指導の改善に寄与 A ・入試結果・機試結果を多面的に分析し、各学年や各教科の学習指導・進路指導の改善に寄与 A ・ A を進める。 ・教員対象の提案・研修情報を提供し、教員の授業力、受験指導力の向上に寄与 A する。 ・教員対象の提案・研修情報を提供し、教員の授業力、受験指導力の向上に寄与 A する。 ・教員対象の進路研修会を実施し、今後の入試制度の変化に対応するために教職員全体で研究 A を進める。 ・商人接続改革及び大学入学共通テスト等に関する研究を継続し、保護者・生徒、教職員への A 情報提供を適宜行う。 ・HRや特別活動、学校行事、授業等様々な場面においてまずは挨拶と身だしなみを意識して A 指導し、基本的生活習慣を身に付けさせる。 ・着こなし強化週間やさわやかマナーアップ運動等を通して、その意義を十分理解させ、生徒 A 自ら規範意識の向上を図れるようにする。 ・ を推進する。 教育相談体制の充実を図 る。 ・交通安全週間、長期休業明け交通安全指導時には、改めて交通安全の意識を持たせるように A 努める。 ・ 養察や関係機関との連携を密にし、不審者情報や交通事故情報等を迅速に提供する。また地 A がら規範意識や公共	進路指導		・「進路ナビゲーター」や「進路便り」を発行し、各学年の適切な進路指導をサポートする。	В		
お参加		伸長を図るとともに学年	・多様な入試制度に対応するために、面接・小論文等の対策について学年を越えた指導を充実			
る。			・家庭学習時間の確保のため、各学年や各校務分掌等との連携を図りながら方策を検討する。	A		
・多様な入試制度を整理・分析し、生徒との面談に活用できる適切な進路情報を提供する。 A ・入試結果・模試結果を多面的に分析し、各学年や各教科の学習指導・進路指導の改善に寄与 A する。 ・各予備校等の教員対象の授業・研修情報を提供し、教員の授業力、受験指導力の向上に寄与 A する。 ・教員対象の進路研修会を実施し、今後の入試制度の変化に対応するために教職員全体で研究 A を進める。 ・高大接続改革及び大学人学共通テスト等に関する研究を継続し、保護者・生徒、教職員への A 情報提供を適宜行う。 ・HRや特別活動、学校行事、授業等様々な場面においてまずは挨拶と身だしなみを意識して A 規範を順守する態度を育 てる指導を、全教職員の 共通理解のもとで推進する。 生徒指導 安全への意識を高め指導 を推進する。 生徒指導 を全への意識を高め指導 を推進する。 ・ 校内の決まり事や公共マナーが守られているか、常にチェックする意識を持つ。 A を選が出るいよう、指導部主導で指 導の仕方を徹底する 必要がある。 ・自転車の乗車マナー に関する地域の苦 情が多いので、日頃 から規範意識や公共 A A A				A		
・入試結果・模試結果を多面的に分析し、各学年や各教科の学習指導・進路指導の改善に寄与 A する。 ・各予備校等の教員対象の授業・研修情報を提供し、教員の授業力、受験指導力の向上に寄与 A する。 ・教員対象の進路研修会を実施し、今後の入試制度の変化に対応するために教職員全体で研究 A を進める。 ・高大接続改革及び大学入学共通テスト等に関する研究を継続し、保護者・生徒、教職員への A 情報提供を適宜行う。 ・HRや特別活動、学校行事、授業等様々な場面においてまずは挨拶と身だしなみを意識して A 指導し、基本的生活習慣を身に付けさせる。 てる指導を、全教職員の 共通理解のもとで推進する。 生徒指導 安全への意識を高め指導 自ら規範意識の向上を図れるようにする。 を推進する。 教育相談体制の充実を図 る。 ・ 交通安全週間、長期休業明け交通安全指導時には、改めて交通安全の意識を持たせるように A 努める。 ・警察や関係機関との連携を密にし、不審者情報や交通事故情報等を迅速に提供する。また地 A A A M A A A A M A A A M A A A M A A A M A A M A A M A A A M A A M A A M A A M A A M A A M A A M A A M A A M A A M A A M A A M A A M A A A M A A M A A M A M A M A M A M A M A M A A M A A M A A M M M M M M M M M M M M M M M M M M M M				Α		
・各予備校等の教員対象の授業・研修情報を提供し、教員の授業力、受験指導力の向上に寄与 A する。 ・教員対象の進路研修会を実施し、今後の入試制度の変化に対応するために教職員全体で研究 A を進める。 ・高大接続改革及び大学入学共通テスト等に関する研究を継続し、保護者・生徒、教職員への A 情報提供を適宜行う。 ・HRや特別活動、学校行事、授業等様々な場面においてまずは挨拶と身だしなみを意識して A 規範を順守する態度を育てる指導を、全教職員の共通理解のもとで推進する。・着こなし強化週間やさわやかマナーアップ運動等を通して、その意義を十分理解させ、生徒 A 自ら規範意識の向上を図れるようにする。 生徒指導 安全への意識を高め指導 を投入のできる。・校内の決まり事や公共マナーが守られているか、常にチェックする意識を持つ。 A 必要がある。・自転車の乗車マナーに関する地域の苦情が多いので、日頃 から規範意識や公共			・入試結果・模試結果を多面的に分析し、各学年や各教科の学習指導・進路指導の改善に寄与	A		
・教員対象の進路研修会を実施し、今後の入試制度の変化に対応するために教職員全体で研究 A を進める。 ・高大接続改革及び大学入学共通テスト等に関する研究を継続し、保護者・生徒、教職員への A 情報提供を適宜行う。  規律ある生活態度や社会 規範を順守する態度を育 てる指導を、全教職員の 共通理解のもとで推進する。 生徒指導 安全への意識を高め指導 を推進する。教育相談体制の充実を図 教育相談体制の充実を図 る。  生徒指導との連携を窓にし、不審者情報や交通事故情報等を迅速に提供する。また地 A A を整察や関係機関との連携を窓にし、不審者情報や交通事故情報等を迅速に提供する。また地 A A から規範意識や公共			・各予備校等の教員対象の授業・研修情報を提供し、教員の授業力、受験指導力の向上に寄与	A		
情報提供を適宜行う。  規律ある生活態度や社会 規範を順守する態度を育 てる指導を、全教職員の 共通理解のもとで推進す る。  生徒指導 安全への意識を高め指導 を推進する。 教育相談体制の充実を図 る。  ・交通安全週間、長期休業明け交通安全指導時には、改めて交通安全の意識を持たせるように 多の意識を高めた。 ・交通安全週間、長期休業明け交通安全指導時には、改めて交通安全の意識を持たせるように 多の意識を高めます。 ・交通安全週間、長期休業明は交通安全指導時には、改めて交通安全の意識を持たせるように 多の意識を高めます。 ・交通安全週間、長期休業明は交通安全指導時には、改めて交通安全の意識を持たせるように のを異が出ないよう、指導部主導で指導の仕方を徹底する 必要がある。 ・自転車の乗車マナーに関する地域の苦情が多いので、日頃 から規範意識や公共				A		
規範を順守する態度を育 てる指導を、全教職員の 共通理解のもとで推進す る。 生徒指導 安全への意識を高め指導 を推進する。 教育相談体制の充実を図 る。 ・交通安全週間、長期休業明け交通安全指導時には、改めて交通安全の意識を持たせるように 多める。 ・警察や関係機関との連携を密にし、不審者情報や交通事故情報等を迅速に提供する。また地 A  お着ないので、日頃から規範意識や公共 から規範意識や公共 から規範意識や公共 から規範意識や公共				A		
・着こなし強化週間やさわやかマナーアップ運動等を通して、その意義を十分理解させ、生徒 A 共通理解のもとで推進す る。 生徒指導 安全への意識を高め指導 ・校内の決まり事や公共マナーが守られているか、常にチェックする意識を持つ。				A		, •
共通理解のもとで推進す				Α		
を推進する。						·—·· · · · ·
生徒指導 安全への意識を高め指導 ・校内の決まり事や公共マナーが守られているか、常にチェックする意識を持つ。 A 必要がある。 ・自転車の乗車マナ 教育相談体制の充実を図 ・交通安全週間、長期休業明け交通安全指導時には、改めて交通安全の意識を持たせるように A の						
教育相談体制の充実を図 ・交通安全週間、長期休業明け交通安全指導時には、改めて交通安全の意識を持たせるように A	生徒指導		・校内の決まり事や公共マナーが守られているか、常にチェックする意識を持つ。	A		
教育相談体制の充実を図 ・交通安全週間、長期休業明け交通安全指導時には、改めて交通安全の意識を持たせるように A		を推進する。				・自転車の乗車マナ
・警察や関係機関との連携を密にし、不審者情報や交通事故情報等を迅速に提供する。また地 🗛 から規範意識や公共			・交通安全週間、長期休業明け交通安全指導時には、改めて交通安全の意識を持たせるように	A		ーに関する地域の苦
		る。				情が多いので、日頃
			・警察や関係機関との連携を密にし、不審者情報や交通事故情報等を迅速に提供する。また地	A	Α	- · · · - · - · - · · · · · · · · · · ·
		教育相談体制の充実を図				心を育む指導を工夫

- ICT を活用して各学年からの生徒指導上の問題点や意見をとりまとめ、生徒指導の充実を図る。 - ・研修会や情報交換会の内容など生態指導上の問題点や意見をとりまとめ、生徒指導の充実を図る。 - ・機帯電話・インケーネットの安全な利用について周知させる。 - ・機帯電話・インケーネットの安全な利用について周知させる。 - ・機帯電話・インケーネットの安全な利用について周知させる。 - ・機帯電話・インケーネットの安全な利用について周知させる。 - ・機帯電話・インケーネットの安全な利用について周知させる。 - ・機・一体においては、以下の事項を学年や他分学と協力して実施する。 - ・部活動の落り上等で表している。 - ・部活動のあり方を検討していく。 - ・部活動の変と外指導を各種のに活用出来るように要望は続けていく。 - ・各部の顧問と協力して、部金の管理や清掃の徹底を図る。 - ・本書加及び他の施蔵の使用の調整を図る。 - ・体育和及び他の施蔵の使用の調整を図る。 - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		る。	・カウンセラーや環境保健部と連携し、生徒・保護者・教職員の要望を反映しカウンセリング 活動の充実を図る。	A		する必要がある。
### (神経会や情報交換会の内容など生徒指導に関する)内容を提供する。			・ICT を活用して各学年からの生徒指導上の問題点や意見をとりまとめ、生徒指導の充実を図	A		
高校生活のために、以下の事項を学年や他分学と協力して実施する。  ・総活動環境の改善に向けて、各部からの要望を集約し、予算要求をしていく。 ・総活動の参校外指導者を積極的に活用出来るように要望は続けていく。 ・各部の顧問を協力して、部室の管理や清掃の徹底を図る。 ・企業した日根活動が実施できるよう、各学年との協力関係を築いていく。 ・日Rにおいて「キャリア・バスボート」を活用した記録を用いた話し合いや意思決定により、生徒一人一人のキャリカ形成に努める。 ・程作において「キャリア・バスボート」を活用した記録を用いた話し合いや意思決定により、生徒一人一人のキャリカ形成に努める。 ・技行会・伝達表彰等を通して、生徒の活動の成果を積極的に発信していく。 ・部活動の記録や広報活動の元実を図る。 ・社行会・伝達表彰等を通して、生徒の活動の成果を積極的に発信していく。 ・部活動の活動が記録では、から、まり充実した内容の表思決定により、生徒会話の記事の内容の充実を図る。 ・推活動や行事の記録及び写真を保存し、広報活動や今後の活動に役立てる。 ・部活動が活動が記述の表別を使用する機がほとなどな、影響すると、企業表彰の活動が直接でいるが、オンラインで、まですると、・金融行事の日整みで実を図る。 ・部活動の活動が記述の表別を使用する機がほどが、オンラインで、まですると、企業表彰を行事の日整な事を方法は随時検討し、より充実した学校行事を目指す。 ・企理行事の日整な受図を図る。 ・生徒会を設し、生徒会を貢献の活性化を図るとともに、行事の人会講じる。 ・生徒会活動の年間計画を作成し、ICTを活用しながら、より充実した内容とするための方策へ会議を表しているが、オンラインで、まですると、一直の表別を構ななな検討をしていきたが、今後コに前の行事業施に異さる。 ・生徒による委員会活動を活性化し、学校図書館運営に主体的に参加させる。 の書面の機能充実を図る。 ・土浦市立図書館との連携を強化する。 る。・生徒による委員会活動を活性化し、学校図書館運営に主体的に参加させる。 の書面の機能充実が、といまでは、関帯の手機を推修に発され、関帯を持た行所微域が専門が再来を使いたい。度に、図数の合意が表別でも関係が表別に対している。のの音楽を理解している。のの音楽を理解している。 の言語の機能充実が、などによる場合といまでは、関帯のの手機を発展している。 の言語の機能充実が、などは、といまでは、関帯のできが表している。のできといまでは、関係のできで検討している。 の言語の心臓能充まり、表別に対している。 の言語の心臓能充する。 ・主が行事の心臓能を表している。 の言語の心臓能充する。 ・まが、そうことが、そのも、行事のは、といまでは、といまでは、といまでは、といまでは、といまでは、といまでは、といまでは、といまでは、といまでは、といまでは、といまでは、といまでは、といまでは、といまでは、といまでは、といまでは、といまでは、といまでは、まないまでは、といまでは			・研修会や情報交換会の内容など生徒指導に関する内容を提供する。	В		
の事項を学年や他分学と協力して実施する。 ・部活動の学校外指導者を積極的に活用出来るように要望は続けていく。 ・部活動の学校外指導者を積極的に活用出来るように要望は続けていく。 ・ 部活動の一種を関わっていた。 ・ ・				A		・職員全員が何らかの部活動の顧問に充てているが、
特別活動  特別活動  特別活動  特別活動  特別活動  特別活動  特別活動  特別活動  大変素を図る。  ・変素した日R活動が実施できるよう、各学年との協力関係を築いていく。 ・ 日Rにおいて「キャリア・パスポート」を活用した記録を用いた話し合いや意思決定により、生徒一人一人のキャリカ形成に努める。 ・ 体育館及び他の施設の使用の調整を図る。 ・ 体育館及び他の施設の使用の調整を図る。 ・ 本活動か行事を適して、生徒の活動の成果を積極的に発信していく。 ・ 部活動が変換を使用する機がほとんどなく、調整するともに表する。 ・ 生徒会話の記事の内容の充実を図る。 ・ 部活動が活動状況や成果を水ームページ等で積極的に公開していく。 ・ 企権方の変換するともに、行事の企作がより、より充実した学校行事を目指す。 ・ 定期的に生徒会役員との打ち合わせを実施し、生徒会活動の活性化を図るとともに、行事の企画力の養成を図る。 ・ 生徒会活動の不実を図る。 ・ 生徒会活動の年間計画を作成し、ICTを活用しながら、より充実した内容とするための方策を含ましていく。		の事項を学年や他分掌と	・部活動環境の改善に向けて、各部からの要望を集約し、予算要求をしていく。	В		心 9 しも経験名とは限らな   い中、顧問がどのように部
・ 各部の顧問と協力して、部室の管理や情掃の徹底を図る。		協力して実施する。	・部活動の学校外指導者を積極的に活用出来るように要望は続けていく。	Α		活動の生徒と関わっていく
特別活動 (特別活動の充実。 ・ 充実したHR活動が実施できるよう、各学年との協力関係を築いていく。			・各部の顧問と協力して、部室の管理や清掃の徹底を図る。	Α		
特別活動 特別活動						された上で、どのように運
特別活動		検討する。				営していくのか検討が必要
特別活動		HR 活動の充実。	・充実したHR活動が実施できるよう、各学年との協力関係を築いていく。	В		
・体育館及び他の施設の使用の調整を図る。			・HRにおいて「キャリア・パスポート」を活用した記録を用いた話し合いや意思決定によ	В		館等の施設を使用する機会
特別活動の記録や広報活動の充実を図る。	特別活動		り、生徒一人一人のキャリカ形成に努める。			がほとんどなく、調整する
特別活動の記録や広報活			・体育館及び他の施設の使用の調整を図る。	В	Α	
・ 生 注会誌の記事の内容の充実を図る。		特別活動の記録や広報活	・壮行会・伝達表彰等を通して、生徒の活動の成果を積極的に発信していく。	Α		会や伝達表彰は対面ではな
・生徒会誌の記事の内容の元実を図る。 ・部活動の活動状況や成果をホームページ等で積極的に公開していく。 ・部活動の活動状況や成果をホームページ等で積極的に公開していく。 ・特活行事の運営方式・日程・内容等の検討を行う。 ・を種行事の日程や実施方法は随時検討し、より充実した学校行事を目指す。 ・定期的に生徒会役員との打ち合わせを実施し、生徒会活動の活性化を図るとともに、行事の企画力の養成を図る。 ・生徒会活動の年間計画を作成し、ICTを活用しながら、より充実した内容とするための方策を起てまたが、今後コョ前の行事実施に戻せるよな検討をしていきたい。 図書館の利用促進と委員会活動の充実を図る。 図書館の機能充実を図る。 図書館の機能充実を図る。 ・生徒による委員会活動を活性化し、学校図書館運営に主体的に参加させる。 ・生徒による委員会活動を活性化し、学校図書館運営に主体的に参加させる。 ・ 生徒による委員会活動を活性化し、学校図書館運営に主体的に参加させる。 ・		動の充実を図る。	・部活動や行事の記録及び写真を保存し、広報活動や今後の活動に役立てる。	А		かったが、オンラインで実
・部活動の活動状況や成果をホームページ等で積極的に公開していく。         B         A         A         A         A         A         B         A			・生徒会誌の記事の内容の充実を図る。	А		
程・内容等の検討を行う。			・部活動の活動状況や成果をホームページ等で積極的に公開していく。	В	1	出場した部活動を称えるた
(図書館)         ・足期的に生徒会役員との打ち合わせを実施し、生徒会活動の活性化を図るとともに、行事の合理体のな企画力の養成を図る。         ・・コロナの影響で様々なな校行事が中止や縮小、延打を書かしる。         ・・コロナの影響で様々なな校行事が中止や縮小、延打を書かした内容とするための方策 A A を講じる。         A A 会活動の充実を図る。         ・図書館の利用促進と委員会活動を活性化し、学校図書館運営に主体的に参加させる。         A A 会活動の充実を図る。         (図書館の機能充実を図る)         ・・上浦市立図書館との連携を強化する。         A A A A A A A A A A A A A A A A A A A		特活行事の運営方式・日	・各種行事の日程や実施方法は随時検討し、より充実した学校行事を目指す。	Α		
う。         企画力の養成を図る。         ・生徒会活動の年間計画を作成し、ICT を活用しながら、より充実した内容とするための方策 A         校行事が中止や縮小、延身をしてきたが、今後コロ前の行事実施に戻せるよな検討をしていきたい。           図書館の利用促進と委員会活動の充実を図る。         ・図書館の表達を選出していまた。         ・図書館の機能充実を図る。         ・生徒による委員会活動を活性化し、学校図書館運営に主体的に参加させる。         A           図書館の機能充実を図る。         ・生徒による委員会活動を活性化し、学校図書館運営に主体的に参加させる。         A           る。         ・上浦市立図書館との連携を強化する。         A           値内の環境整備を図る。         ・「ICT を活用しながら「探究活動」を行うことができる図書館にする。         B           が内の環境整備を図る。         ・本の整理整頓・本の廃棄         ・本の整理整頓くりをしたい。		程・内容等の検討を行	・定期的に生徒会役員との打ち合わせを実施し、生徒会活動の活性化を図るとともに、行事の	Α		
図書館の利用促進と委員 会活動の充実を図る。		う。	企画力の養成を図る。			校行事が中止や縮小、延期
図書館の利用促進と委員 会活動の充実を図る。       ・図書を充実させる。       ・生徒による委員会活動を活性化し、学校図書館運営に主体的に参加させる。       A 図書委員の活動を活発に行い、図書館の利用を推進る。また、蔵書点検を行い、図書館の機能充実を図る。         図書館       ・土浦市立図書館との連携を強化する。       A 日本の整理整頓 ・本の整理整頓 ・本の廃棄       A 日本の廃棄			・生徒会活動の年間計画を作成し、ICTを活用しながら、より充実した内容とするための方策	Α		をしてきたが、今後コロナ
会活動の充実を図る。			を講じる。			
会活動の充実を図る。         ・生徒による委員会活動を活性化し、学校図書館運営に主体的に参加させる。         A           図書館         ・土浦市立図書館との連携を強化する。         A           る。         ・ICT を活用しながら「探究活動」を行うことができる図書館にする。         B           館内の環境整備を図る。         ・本の整理整頓 ・本の廃棄         A		図書館の利用促進と委員	  ・図書を充実させる。	Α		図書委員の活動を活発に行
図書館       ・土浦市立図書館との連携を強化する。       ・ 上浦市立図書館との連携を強化する。       A A A A A A A A A A A A A A A A A A A				<b>.</b>		い、図書館の利用を推進す
図書館       る。       ・ICT を活用しながら「探究活動」を行うことができる図書館にする。       B       A       ていきたい。更に、図書館の学習センターとしての体能を高め、「探究学習」を行うことのできる図書館である。         館内の環境整備を図る。       ・本の整理整頓・本の廃棄       ・本の整理を収入りをしたい。						
Total を指用しながら 「採允相動」を刊りことが くさる図書館でする。	図書館		— 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		Α	ていきたい。更に、図書館
館内の環境整備を図る。       ・本の整理整頓       行うことのできる図書館やいます。         ・本の廃棄       くりをしたい。			101 で1日/11 いながり 「1木/山口剣」 で11 / ことがくさる囚音明にする。 	מן		の学習センターとしての機
・本の廃棄		館内の環境整備を図る。	- 本の整理整頓	Α		能を高め、「探究字習」を   行うことのできる図書館づ
		THE PROPERTY OF THE PROPERTY O				
1/EA = 1/1/TC			<ul><li>・蔵書点検</li></ul>			

	学習環境の整備。	・清掃徹底週間を適宜実施し、特にトイレと手洗い場の清掃徹底を図る。	В		・清掃徹底週間の実
		・教室の空気環境改善のため、天窓+対角線上の窓の開放と壁掛け扇風機による空気の撹拌を	Α	Α	施
		促す。			・換気の徹底
		・エアコン、ストーブの使用上の注意事項を守れるよう指導する。	Α		・健康観察の入力率
環境保健	疾病予防と健康管理能力	・疾病予防教育の充実と、欠席状況を迅速に把握し、ICT を活用しながら感染症蔓延防止に取	Α		の向上
	の育成。	り組む。(健康チェックの入力の徹底)			・円滑な健康診断の
		・感染症対策をしながら、各種検診・検査を合理的かつ円滑な進行できるよう工夫する。	Α		実施
		・保健室利用状況の円滑な伝達。	Α		・生徒に対する保健
		・1年生に対する歯の健康指導と性教育を充実させる。(感染予防のため、オンラインの利用	В		教育の充実
		も検討する。)			・避難経路の周知徹
	防災意識の向上と地域と	・避難経路を年度初めに周知徹底する。また、改善すべき点を検討し、見直す。	Α		底
	の連携。	・避難態度を一層向上させ、安全かつ迅速な避難誘導方法を工夫する。	Α		・継続した環境整備
		・避難訓練に於いて、感染症対策をしながら、生徒と周辺住民とが協力し合える訓練形態を工	В		の意識を高められる
		夫する。			ような声かけ
		・職員緊急連絡網を随時更新する。	В		
	家庭、地域、学校との協	・PTA評議員の活動を活発化し、ICTを活用しながら、生徒指導部と連携して、校外指導を	Α		新型コロナウイルス
	力体制をさらに強化す	実施する。		Α	感染防止の観点から
	る。	・土浦市高P連と連携し、早朝街頭指導、年末街頭指導へ積極的に参加する。	В		実施できなかったP
	保護者に学校の情報を積	・PTA総会への出席者数を増加させる。	В		TA行事が多かった
	極的に提供し、教育活動	・支部会・研修視察等のPTA主催行事の充実を図り、参加者を増加させる。	Α		が、PTA会報発
	への理解と協力を図る。	・PTA評議員を実行委員として、あゆな祭のバザーへ保護者の積極的な参加を図る。	В		行、PTA保護者対
	尚絅同窓会、PTAOB	・土浦二高PTA広報紙「であい」を年2回発行し、本校の教育活動を良く理解し、積極的な	Α		象大学説明会等をい
	会に本校の情報を積極的	後援の推進を図る。			ろいろと工夫して実
	に提供し、学校への関心	・尚絅同窓会及びPTAOB会と連携を密にし、積極的に学校への後援体制の推進を図る。	В		施した。来年度の各
	を高め、教育活動を積極				PTA行事の実施に
	的な後援の推進を図る。				ついても十分な検討
					が必要である。
	情報発信の充実。	・ホームページの充実と迅速な更新に努め、広く情報を発信する。	Α	_	・校内 PC およびネット
	校務支援システムの安定	・教務部との連携を図り、校務支援システムの円滑な運用を行う。	Α		ワークの充実, 円滑な
	した運用。	・校内ネットワークの安定した運用管理と保守を行う。		A	運用に努める。(PC
	校内ネットワークの整備	・個人情報の保護と情報管理の徹底を図り、セキュリティ向上に努める。	Α		機器の充実, ICT 機
	とセキュリティ管理。	・情報機器の管理と整備を進める。		-	器の充実・活用、校
	学習端末の導入活用。	・電子黒板等 ICT の活用の補助。	Α		務支援システム等)
		・新1年生から導入の学習端末の活用の補助。			・学習端末を利用し
					た ICT 学習の充実

事務         習環境の整備。 予意の効率的・効果的な 執行。         な整備を行う。 適比な学校運営のため、管理職や教職員等と連携を図、ICTを活用しながら学校予算の効率 B 的・効果的な料育を行う。         B B B B B B B B B B B B B B B B B B B	影響を受
軟行。	戸算で効
子習、復習の習慣化と家 庭学習時間の確保。         ・学習時間調査、個人面談の実施。 ・適切な学習課題の提示、小テストの実施。 ・各種課外の実施、外部英語検定、海外研修等への対策、サポート。 ・名種課外の実施、外部英語検定、海外研修等への対策、サポート。 ・主体的、筋働的な「探究」を実現する ICT を活用した授業づくり。 ・自分の考えを可視化し、論理的にわかりやすく伝える力の育成。 ・「探究」合め、あらゆる授業おける I CT (タブレット等) の積極的活用。 ・活動履歴の作成等、新方式の人献に対するサポート。 ・活動履歴の作成等、新方式の人献に対するサポート。 ・個人面談、保護者面談の充実。 ・各種選承会、説明会、各種課外の実施。 ・各種選及会、説明会、各種課外の実施。 ・各種ガイダンス、セミナー、オープンキャンパス等への積極的参加の推奨。 ・技外模擬試験の実施と結果分析、事後の有効活用。 ・一般装、頭髪検査の実施、及び日々の学校生活、授業の中での指導、説論。 徹底。 規範意識の高揚と道徳的 実践力の育成。 交通安全指導の充実。 ・道徳の授業やHR、清掃活動等を通しての、道徳的な判断力や態度の育成。 ・生徒指導部との連携による校外指導の実施。 ・HR活動等を通じた交通安全指導の徹底。 ・生徒指導部との連携による校外指導の実施。 ・ S C、養護教論、保護者等との連携強化。         A           世界内容の確実な定着、教科の特性に応じた適正 方子別常図の環体とと家 を通した適近な学習課題の提示。 ・一個人面談の実施、小テストの実施。 ・ 個人面談の実施、小テストの実施。 ・ 一個人面談の実施、小テストの実施。 ・ 一個人面談の実施、小テストの実施。 ・ 一個人面談の実施、小売ストの実施。 ・ 一個人面談の実施、小売ストの実施。 ・ 一個人面談の実施、小売ストの実施。 ・ 一個人面談の実施、小売ストの実施。 ・ 一個人面談の実施、小売ストの実施。 ・ 一個人面談の実施、小売ストの実施。 ・ 一個人面談の実施、小売ストの実施。 ・ 一個人面談の実施、小売ストの実施。 ・ 一個人面談の実施、小売ストの実施。 ・ 一般で発力となどの発生がある。	丸行が求
虚学習時間の確保。         ・適切な学習課題の提示、小テストの実施。         B         ・各種課外の実施、外部英語検定、海外研修等への対策、サポート。         A	
虚学習時間の確保。         ・適切な学習課題の提示、小テストの実施。         B         ・各種課外の実施、外部英語検定、海外研修等への対策、サポート。         A	
・各種課外の実施、外部英語検定、海外研修等への対策、サポート。	
新教育課程、入武改革への対応。	
の対応。	1.5
1学年	
1 学年	
1 学年	- •
1 学年	_
・各種ガイダンス、セミナー、オープンキャンパス等への積極的参加の推奨。         B           ・を外模擬試験の実施と結果分析、事後の有効活用。         A           高校生らしい服装容儀の 徹底。         ・服装、頭髪検査の実施、及び日々の学校生活、授業の中での指導、説諭。         B           機底意識の高揚と道徳的 実践力の育成。         ・道徳の授業やHR、清掃活動等を通しての、道徳的な判断力や態度の育成。         B           交通安全指導の充実。         ・生徒指導部との連携による校外指導の実施。         A           ・出居活動等を通じた交通安全指導の徹底。         A           ・おりの健康管理及び教育相談の充実。         ・S C、養護教諭、保護者等との連携強化。           ・財習内容の確実な定着、教科の特性に応じた適正な予習復習の習慣化と定する活用した適切な学習課題の提示。         A           ・1CTを活用した適切な学習課題の提示。         A           ・シーン教力生調度を対策の継続         A	是性。
・校外模擬試験の実施と結果分析、事後の有効活用。         A           高校生らしい服装容儀の 徹底。         ・服装、頭髪検査の実施、及び日々の学校生活、授業の中での指導、説論。         B           規範意識の高揚と道徳的 実践力の育成。         ・道徳の授業やHR、清掃活動等を通しての、道徳的な判断力や態度の育成。         B           交通安全指導の充実。         ・生徒指導部との連携による校外指導の実施。 ・HR活動等を通じた交通安全指導の徹底。 ・HR活動等を通じた交通安全指導の徹底。         A           心身の健康管理及び教育 相談の充実。         ・S C、養護教諭、保護者等との連携強化。         A           既習内容の確実な定着、 教科の特性に応じた適正 か予習復習の習慣化と家         ・個人面談の実施、小テストの実施。 ・ICT を活用した適切な学習課題の提示。 ・小診立生道 英語の知絵字対策の継続。         A	
高校生らしい服装容儀の 徹底。       ・服装、頭髪検査の実施、及び日々の学校生活、授業の中での指導、説諭。       B         規範意識の高揚と道徳的 実践力の育成。       ・道徳の授業やHR、清掃活動等を通しての、道徳的な判断力や態度の育成。       B         交通安全指導の充実。       ・生徒指導部との連携による校外指導の実施。       A         ・日R活動等を通じた交通安全指導の徹底。       A         ・SC、養護教諭、保護者等との連携強化。       A         既習内容の確実な定着、教科の特性に応じた適正 か予習復習の習慣化と変       ・個人面談の実施、小テストの実施。 ・ICT を活用した適切な学習課題の提示。 ・小診立 生道、英語外部検室対策の継続       A	
<ul> <li>徹底。</li> <li>規範意識の高揚と道徳的 実践力の育成。</li> <li>交通安全指導の充実。</li> <li>・生徒指導部との連携による校外指導の実施。</li> <li>・HR活動等を通じた交通安全指導の徹底。</li> <li>・SC、養護教諭、保護者等との連携強化。</li> <li>既習内容の確実な定着、教科の特性に応じた適正 な予習復習の習慣化と家</li> <li>・ICT を活用した適切な学習課題の提示。</li> <li>・小鈴文 生演 英語外 知倫定 対策の継続</li> </ul>	
規範意識の高揚と道徳的       ・道徳の授業やHR、清掃活動等を通しての、道徳的な判断力や態度の育成。       B         実践力の育成。       ・生徒指導部との連携による校外指導の実施。       A         ・HR活動等を通じた交通安全指導の徹底。       A         心身の健康管理及び教育相談の充実。       ・SC、養護教諭、保護者等との連携強化。       A         既習内容の確実な定着、教科の特性に応じた適正な予習復習の習慣化と家       ・個人面談の実施、小テストの実施。       A         ・1CT を活用した適切な学習課題の提示。       A         ・小会文生道、英語外部検索対策の維持       ・小会文生道、英語外部検索対策の維持	
実践力の育成。       ・生徒指導部との連携による校外指導の実施。       A         交通安全指導の充実。       ・生徒指導部との連携による校外指導の実施。       A         ・日R活動等を通じた交通安全指導の徹底。       A         ・よりの健康管理及び教育相談の充実。       ・S C、養護教諭、保護者等との連携強化。       A         ・財習内容の確実な定着、教科の特性に応じた適正な予習作習の要性化と家       ・個人面談の実施、小テストの実施。       A         ・1CT を活用した適切な学習課題の提示。       A         ・小会文指導の理解を定対策の継続       A	
交通安全指導の充実。       ・生徒指導部との連携による校外指導の実施。       A         ・日R活動等を通じた交通安全指導の徹底。       A         心身の健康管理及び教育相談の充実。       ・SC、養護教諭、保護者等との連携強化。       A         既習内容の確実な定着、教科の特性に応じた適正な予習復習の習慣化と家       ・個人面談の実施、小テストの実施。       A         ・1CT を活用した適切な学習課題の提示。       A         ・公会文指導の部体定対策の継続       A	
・HR活動等を通じた交通安全指導の徹底。         心身の健康管理及び教育相談の充実。       ・S C、養護教諭、保護者等との連携強化。         既習内容の確実な定着、教科の特性に応じた適正な予習復習の習慣化と家       ・個人面談の実施、小テストの実施。         ・ICT を活用した適切な学習課題の提示。       A         ・OP では、かき文装道を対策の継続。       A	
心身の健康管理及び教育 相談の充実。       ・SC、養護教諭、保護者等との連携強化。       A         既習内容の確実な定着、 教科の特性に応じた適正 な子習復習の習慣化と家       ・個人面談の実施、小テストの実施。 ・ICT を活用した適切な学習課題の提示。       A         ・立てを活用した適切な学習課題の提示。       A         ・小鈴立生道、英語外部検定対策の継続       A	
相談の充実。       ・個人面談の実施、小テストの実施。       A       ・学習時間の ・学習時間の ・学習時間の ・ ICT を活用した適切な学習課題の提示。       A       ・できる時間の確立 ・ ICT を活用した適切な学習課題の提示。       A       ・の含さまである。       ・のようまである。       ・の含さまである。       ・の含さまである。       ・の含さまである。       ・のようまである。       ・のまである。       ・の含さまである。       ・の含さまである。       ・の言さまである。	
既習內容の確実な定着、教科の特性に応じた適正 な予習復習の習慣化と家       ・個人面談の実施、小テストの実施。       A       ・学習時間の 習習慣の確立 適切な志望校	
教科の特性に応じた適正       ・ICT を活用した適切な学習課題の提示。       A       習習慣の確立         な予習復習の習慣化と家       ・小鈴文指道、英語外部検定対策の継続	
が予翌復翌の翌慣化と家 ・小診立性道 苦語外郊絵字対策の継続 A 適切な志望校	
5、55 元 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
進路目標の具体化。 ・オープンキャンパスの積極的活用、探究活動の実施。 A な指導方法	
・各種講演会・説明会・ワンデーカレッジの実施。 A ・模擬試験授	
・校外模擬試験の実施と結果分析、事後の有効活用。	
1   高校生りしい服装谷儀の  ・服装・頭髪快生の美肔及の日吊生店での注息・指導。	
徹底と規範意識の高揚。 ・課題提示・	果外等に
交通安全指導の充実。 ・生徒指導部との連携による校外指導の実施。 A おける、成績	<b></b> 引指導

		・HR活動等を通じた交通安全指導の徹底。	Α		の試み
	心身の健康管理。	・SC、養護教諭、保護者などとの連携強化。	Α		<ul><li>・原因のわからない不安から登校できなくな</li></ul>
		・生徒個々の問題の早期発見、及び適切な支援。			っている生徒に対する
					継続的、かつ適切な支援
	家庭学習時間の確保。	・個人面談の実施(年6回以上)。	Α		<ul><li>・模擬試験のデータ</li></ul>
	(平日5時間)	・進路講演会、分析会、説明会の実施による動機付け。	А		を活用した、志望校
	進路指導の充実。	・コースに適した授業内容の充実。	А		合格に向けた学習へ
		・進路指導室、資料室、ICT 環境等の活用の促進。	Α	Α	の取組。
	国公立大学、難関私立大	・課外の充実(受験対応の講座の実施)。	Α		・受験直前期に悩みを
	学への合格者増を目指し	・校外模擬試験の実施とその有効活用。	Α		抱えた生徒への心の
	た指導の工夫及び充実。				ケア。
3学年	最終学年にふさわしい服	・服装、頭髪検査の実施及び日常生活での注意、指導。	В		・セーターで廊下を歩く生徒が多くなって
	装容儀・あいさつの徹				く生使か多くなつ (  しまった。
	底。				しょうた。
	交通安全指導の充実。	・生徒指導部との連携による校外指導の実施。	А		
	心身の健康管理及び教育	・SC、養護教諭、保護者などとの連携強化。	Α		
	相談の充実。				
	いじめの未然防止。	・道徳以外の教科でも相互指導力・協同性・同僚性をポイントに置いた授業を実践する。	В		年3回のいじめに関
		・HR、学校行事、特別活動の場を利用し、自己存在感を養う。	Α		するアンケートを
		・生徒が教職員と相談しやすい関係を構築する。	Α		Google フォームで実
		・情報モラル教育を推進する。	Α		施することがで絵き
		・いじめは必ず起こるという認識のもと、生徒の観察を怠らず、決してサインを見逃さないよ	Α		た。出てきた案件に
		うに努める。			対しては、担任だけ
いじめ	いじめの早期発見。	・ICT を活用しながら年間3回のアンケートを実施する。	Α		でなく、学年、生徒
防止		・生徒や保護者が学校に相談できる関係を構築する。	Α	Α	指導部、管理職など
		・複数の相談窓口を生徒や保護者に周知する。	В		チームで対処するこ
	いじめの早期解消。	・定期的に生徒の様子等の報告会を実施する。	Α		とができた。常に
		・いじめを認知した場合の連絡系統を確認しておく。	Α		「いじめは必ず起こ
		・いじめを認知した場合まずは実態把握に努め、速やかにケース会議を開き対応を検討する。	А		る」という認識のも
		・インターネットを通じて行われるいじめにも適切に対処する。	В		と、未然防止・早期
		・保護者と密接に連絡を取り合う。	А		発見を心がけてい
	関係機関との連携。	・地域の協力を得ていじめの対応等をする。	В		る。
		・警察、児童相談所、法務局等の関係機関と連携する。	В		

教職員研修。	・学校以外の場で起きたいじめに適切に対応する。	В	
	・実践的研修を行う職員研修を設定する。	A	
	・事例研究を通して、いじめの対応方法の共通理解を図る。	A	
	・インターネット環境等に関する研修を計画する。	A	

※評価規準: A:十分達成できた B:達成できた C:普通 D:やや不十分だった E:不十分だった